

重点課題

【課題1】 設問2三『話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていな
こと」にいて自分の考えを書く』の正答率が57.0%。
設問1四『「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先
の名前と住所を書く』の正答率が59.7%。

【課題2】 記述問題を苦手と感じている、特に、文章の内容を捉えて自
分の考えをうまくまとめられない生徒が多い。(設問2三、無回答率8.1%。
設問1三、無回答率8.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】 文章や資料の内容を読み取り、筆者の考えや出題の意図を踏まえながら自分の考えをまとめられるようになる。
封筒の宛名の書き方を身につける。

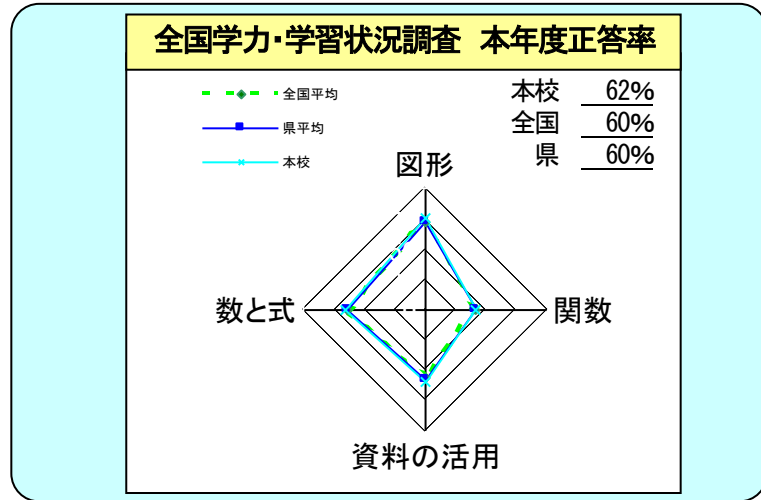
【課題2】 文章の要旨や資料の内容を箇条書きで書き出し、それを踏まえた自分の考えを箇条書きにするなどして、まずは文章の骨子を作り、そこから文章にまとめていく作業を取り入れる。

※ 小中一貫した取組については、広中央中学校区で育成したい資質・能力を意識した授業作りをさらに進めていく。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立てとして、課題発見・解決学習と体験活動に取り組む。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 復習テスト					
目標値		70%					
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 復習テスト					
目標値		無回答0%					
実施後数値							

来年度に向けて



重点課題

【課題1】6(1)「冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ」問題では正答率が35.6%、無解答率が0.7%だった。点Pのy座標と点Qのy座標の差は冷蔵庫Aを購入してから8年間の電気代を表しているという捉えることができなかつたと考えられる。事象に即して解釈することに課題がある。

【課題2】9(2)「連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する」問題では正答率が61.1%、無解答率が22.8%だった。目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】類似問題に繰り返し取り組むことで、基礎的な知識の定着を図る。グラフに対して、x軸、y軸、切片、傾きなどを確認し、黒板に掲示することで、具体的事象を数量的に確認できる活動を図る。

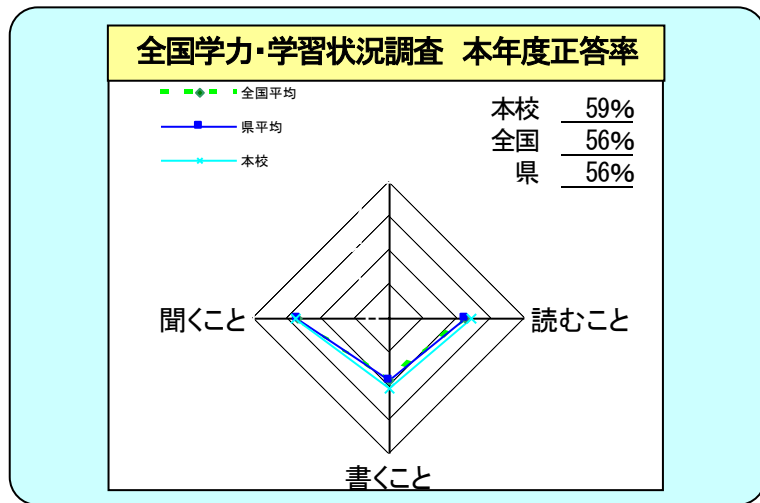
【課題2】具体例の提示を含め長文で情報が多い問題では、わかっていることとわかっていないことを色分けし、指導する。事象をどのような式で表されるか、思考し表現することと、計算し適切な式に変形する指導を多くし、学習の定着を図る。

※ 小中一貫した取組については、広中央中学校区で育成したい資質・能力を意識した従業作りをさらに進めていく。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立てとして、課題発見・解決学習と体験活動に取り組む。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		中間試験	期末試験				
目標値		50%	60%				
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		中間試験	期末試験		学年末試験		
目標値		60%	70%		75%		
実施後数値							

来年度に向けて



重点課題

【課題1】10 「学校」を表すピクトグラム2つの案について、どちらかを選びその選んだ理由を25語以上の英語で書く問題の正答率が非常に低い。その他4のメッセージを聞いてアドバイスを書く問題、8の資料を読んでその問題に対して自分の意見を書く問題も低い正答率になっている。限られた時間内に自分の意見を持ち、正確な英語で表現することに課題がある。

【課題2】1(4)情報を正確に聞き取る問題で、前置詞句の時間的な順序性を正確に捉えていない。前置詞や接続詞の使い方を理解し、意味のまとまりを瞬時に理解することが難しいと考えられる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】発問を工夫し、生徒が興味・関心をもって自分の意見やその根拠を説明する活動を中心としたペアワークやグループワークを展開する。また、まとまりのある英文を書く機会を定期的に設定する。

【課題2】英語の語順に従って読解を行い、意味のまとまりを意識した音読練習を繰り返し暗唱につなげ、計画的にディクテーションを取り入れて自然な口調で話されたり読まれたりする英語に慣れさせる。

※ 小中一貫した取組については、広中央中学校区で育成したい資質・能力を意識した従業作りをさらに進めていく。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立てとして、課題発見・解決学習と体験活動に取り組む。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年 復習テスト			3年 復習テスト		
目標値		20%			30%		
実施後数値							

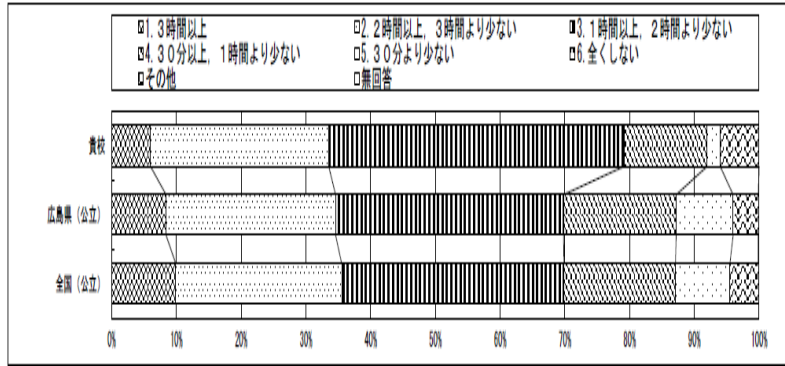
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年 復習テスト			3年 復習テスト		
目標値		65%			70%		
実施後数値							

来年度に向けて

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

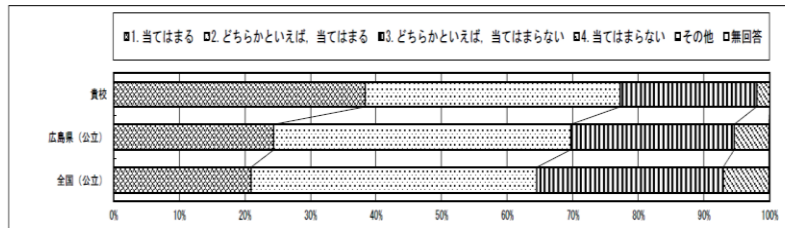
昼休みや放課後、学校が休みの日に学校図書館や地域の図書館に行く。



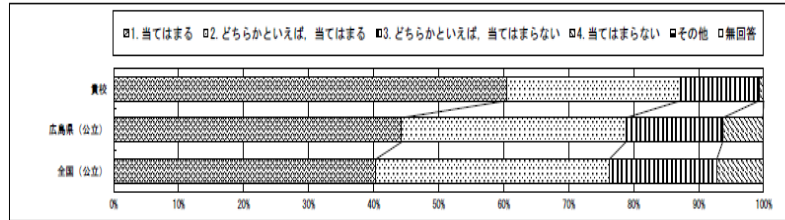
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
基礎・基本	学校の授業の復習をするようにしています。(53.7%)	主に5教科の授業後の課題を見直し、5分程度の復習を行えるよう各教科で課題を出し、家庭での復習を習慣づける。	2	70%	アンケート	12月	
全国	昼休みや放課後、学校が休みの日に学校図書館や地域の図書館に行く。(12%)	委員会を使って学校図書の紹介や読書タイムの充実など読書の習慣をつける。	3	50%	アンケート	12月	

(2) 教科

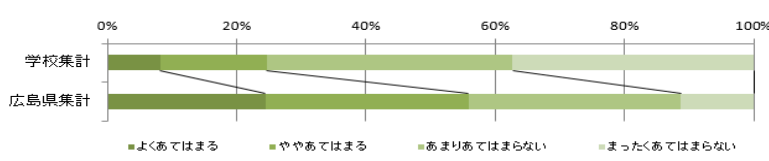
話したり書いたりするときに、話しや文章の組み立てを工夫している。



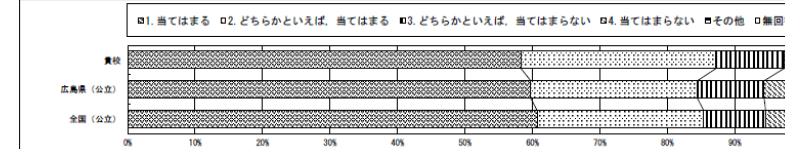
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。



英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	基礎・基本 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。(64.2%)	必要に応じて、資料を見て自分の考えを書いたり話したりする活動を意図的に取り入れる。	2	75%	生徒アンケート	12月	
	全国 話したり書いたりするときに、話しや文章の組み立てを工夫している。(77%)	意見文やスピーチなど根拠を明らかにして自分の考えを書いたり話したりする活動を取り入れる。	3	90%	復習テスト	10月	
数学	基礎・基本 数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。(47.8%)	課題解決する場面では、数学的用語を用いて根拠をもとに説明させる機会を増やしていく。	2	70%	生徒アンケート	12月	
	全国 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。(60.4%)	身の回りの事象を題材として、学習した内容の活用例に取り組む機会を増やす。	3	65%	生徒アンケート	11月	
理科	基礎・基本 理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。(24.6%)	ペアやグループなどでの活動を通じて、自分の考えを人に伝える活動の機会を増やし、発表に自信を持たせる。	2	45%	生徒アンケート	12月	
英語	基礎・基本 英語の授業では聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり感想や意見などを話したり書いたりしています。(57.5%)	単元ごとに、まとまった文を読みあらすじや概要を捉える活動を取り入れ、発問を工夫し、自分事として考えられるように仕組む。	2	70%	生徒アンケート	12月	
	全国 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。」(58.4%)	実践的な場面設定の活動を増やし、将来英語が必要になる場面や状況に対応できるようにする。	3	65%	生徒アンケート	12月	

